

各機関の取組内容

【2級水系版流域治水プロジェクト】

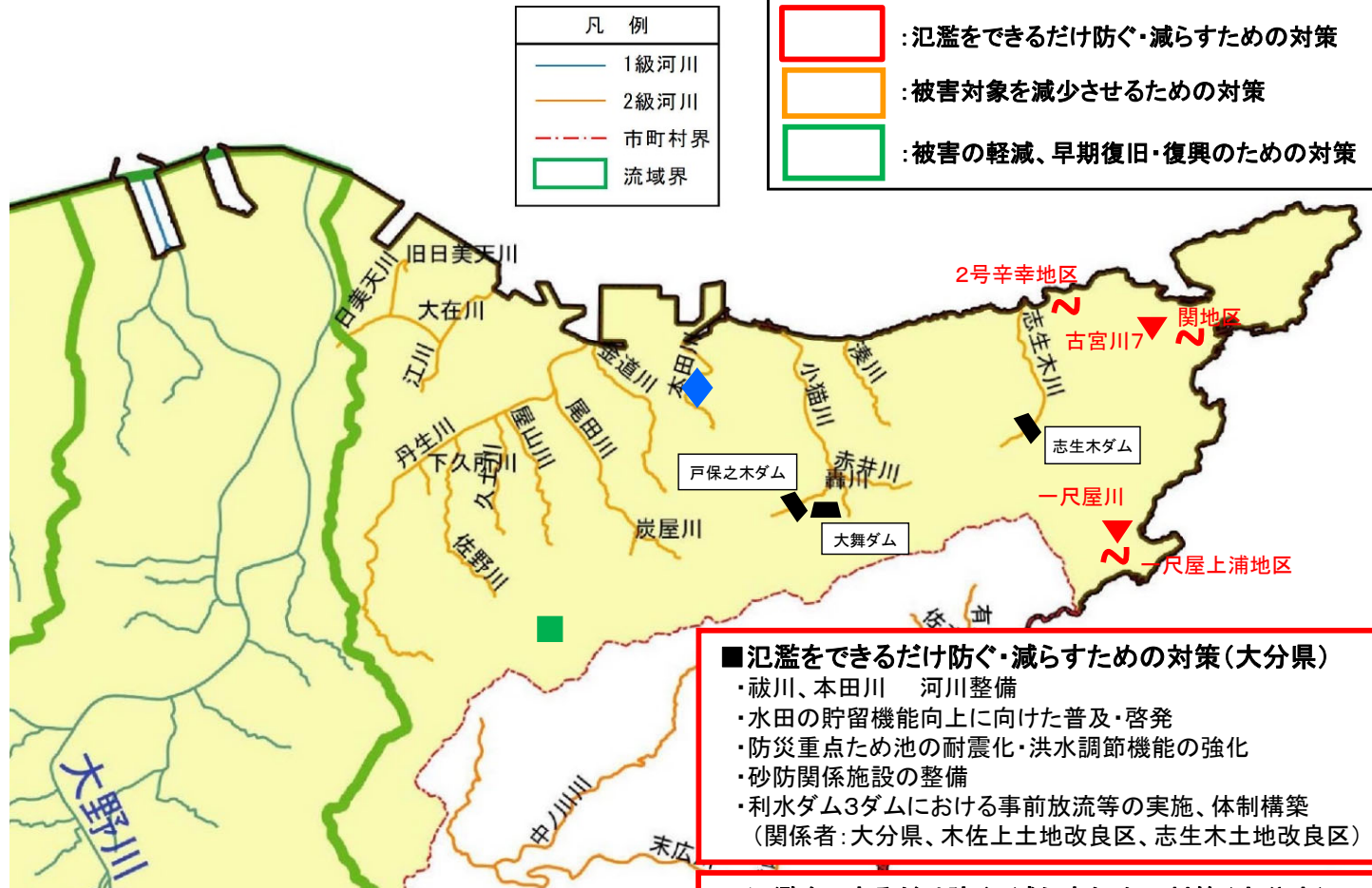
令和4年5月27日

大分川・大野川水系流域治水協議会

大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト【位置図】

～近年の気候変動による水害から県都大分市を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生するなど全国的に近年激甚な水害が頻発している。大分市内の2級水系においても、市街地に人口・資産が集中し、ひとたび災害が発生すると甚大な被害が想定される特性を踏まえ、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取組を実施していくことで、流域における浸水被害軽減を図る。



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策（大分県・大分市）

- ・量水標・水位計・監視カメラの設置
- ・防災情報伝達の多重化の検討
- ・小規模河川の氾濫推定図、ハザードマップの作成
- ・マイ・タイムラインの作成支援
- ・自主防災組織単位毎のタイムラインの作成支援
- ・水防災意識を高める防災教育、防災訓練 等

■被害対象を減少させるための対策（大分市）

- ・災害危険区域の検討
- ・浄水場や水資源再生センター・公共施設の耐水化等による機能確保
- ・立地適正化計画の見直し(防災指針の作成等)
- ・災害リスクを考慮した居住誘導区域の検討

<凡例>

- ◆ 河川整備・河道掘削
- ▼ 砂防堰堤等の整備
- 〰 急傾斜地崩壊対策施設の整備
- 森林整備（除間伐等）
- 治山対策（溪間工・山腹工）
- ▲ 利水ダム

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（大分県）

- ・祓川、本田川 河川整備
- ・水田の貯留機能向上に向けた普及・啓発
- ・防災重点ため池の耐震化・洪水調節機能の強化
- ・砂防関係施設の整備
- ・利水ダム3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：大分県、木佐上土地改良区、志生木土地改良区）

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（大分市）

- ・校庭・公園・公共施設等の貯留施設整備検討
- ・住宅・事業所等における雨水貯留施設設置補助継続
- ・ため池事前放流の可能性検討
- ・下水道事業における雨水流出抑制施設の検討

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策（森林整備センター・大分県）

- ・森林整備・治山対策

大分川・大野川水系（2級水系版） 流域における対策内容

※1級水系と共通する対策およびロードマップは1級水系の資料参照

大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

■既存ダムの洪水調節機能の強化

- ダムによる洪水調節は、下流の全川にわたって水位を低下させ、堤防の決壊リスクを低減させるのに加え、内水被害等を軽減する有効な治水対策である。
- 小猫川水系及び志生木川水系において、緊急時に既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用できるよう、事前放流の実施等についてダムの管理者及び関係利水者と治水協定を令和3年3月30日締結済。



【治水協定締結者】

大分県土木建築部、大分県農林水産部、木佐上土地改良区、志生木土地改良区

ダム名	有効貯水容量 (万m ³)	洪水調節容量 (万m ³) ※1	洪水調節可能 容量 (万m ³)	水害対策に使える 容量 (万m ³)
大舞ダム	10.0	0	1.8	1.8
戸保之木ダム	25.7	19.2	5.2	24.4
志生木ダム	32.0	16.8	0.4	17.2
合 計	67.7	36.0	7.4	43.4

※1 水利用への補給を行う可能性が低い期間等において水位を低下させた状態とする貯水池運用を行うことにより確保可能な容量を含む

○水害対策に使える容量（ダム）

・ 協定前：36万m³→協定後：43万m³ **約7万m³の増加**

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流水の貯留機能の拡大	大分県	利水ダム3ダムにおける事前放流等の実施、体制構築		

大分川・大野川水系（2級水系版）流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

■砂防関係施設の整備

流域内における土砂流出や流木を抑制する砂防施設の整備、避難の実効性・安全性を高めるための避難所・避難路を土砂災害から保全する砂防設備を整備する。



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県	砂防関係施設の整備		

大分川・大野川水系（２級水系版）流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

■ 水源林造成事業による森林の整備・保全

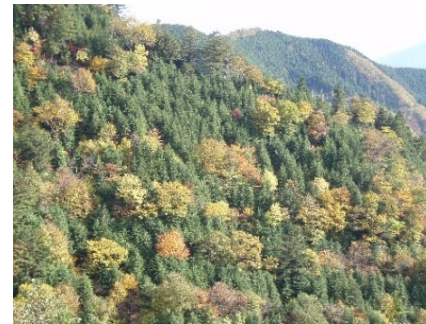
- ・ 水源林造成事業は、奥地水源地域の民有保安林のうち、所有者の自助努力等によっては適正な整備が見込めない箇所において、針広混交林等の森林を整備することにより、森林の有する公益的機能の高度発揮を図る事業です。
 - ・ 水源林造成事業地において除間伐等の森林整備を計画的に実施することで、樹木の成長や下層植生の繁茂を促し、森林土壌等の保水力の強化や土砂流出量の抑制を図り、流域治水を強化促進します。
- 大分川水系（２級水系）の流域における水源林造成事業地は、１箇所（森林面積 約 11 ha）であり、流域治水に資する除間伐等の森林整備を計画的に実施していきます。

大分川水系（２級）流域における水源林造成事業地



「新法に基づき国土地理院長委託(委託)GIS作成」
「高精度を確保する場合は、国土院委託の長尺の委託を仰ぐ必要があります」

水源林の整備



針広混交林



育成複層林

森林整備実施イメージ



間伐実施前



間伐実施後

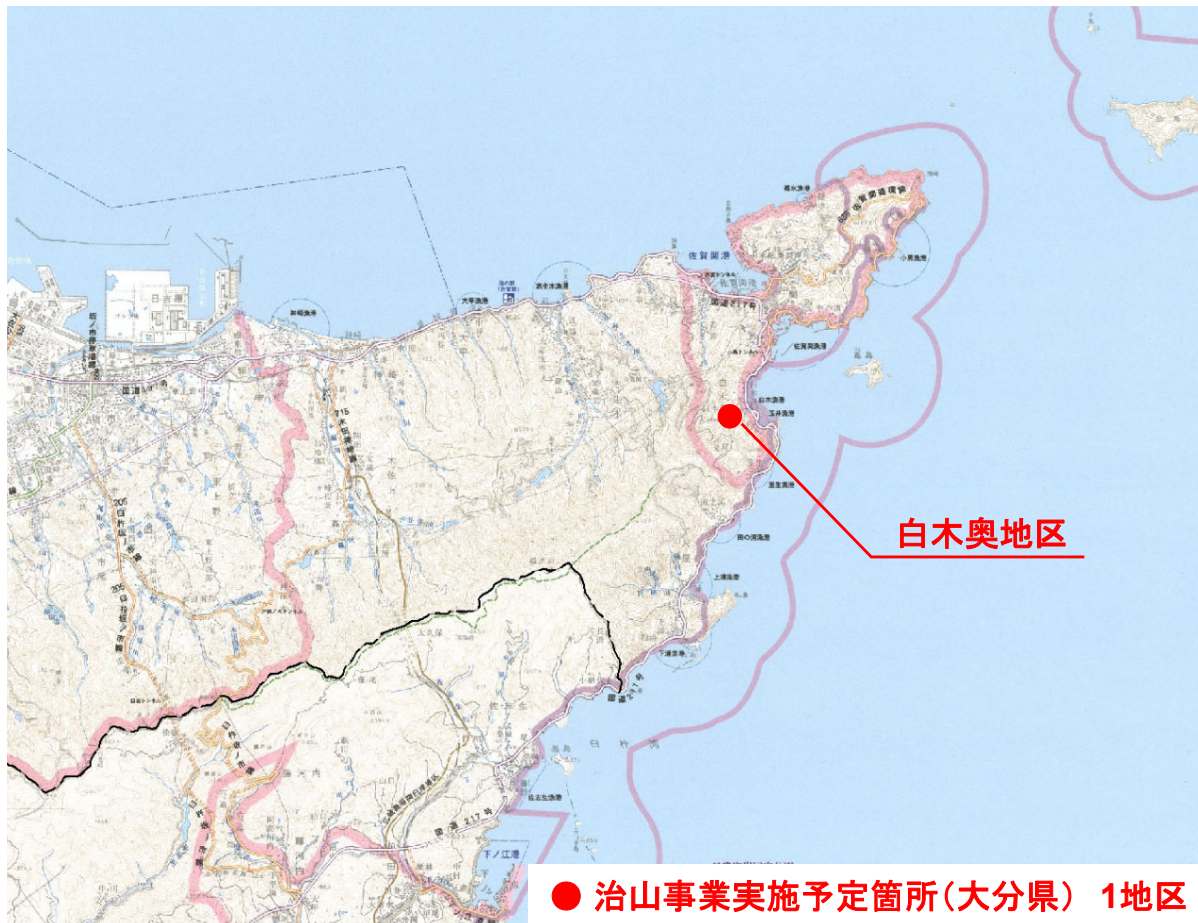
区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	森林整備センター	森林整備		

大分川・大野川水系（２級水系版）流域治水プロジェクト【最終とりまとめ】

～近年の気候変動による水害から県都大分市を守るため流域連携によるハード・ソフト対策の推進～

■森林整備、治山対策【氾濫河川上流域における森林整備、治山対策の実施】

森林は水源涵養機能や山地災害防止機能等の公益的機能を有しており、この機能の適切な発揮に向け森林整備、治山対策を推進。



森林整備による浸透能の向上効果



治山事業の実施による流木・土砂の流出抑制効果



区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	土砂災害対策	大分県、 大分森林管理署、 森林整備センター	森林整備・治山対策		